

VISION



The Brotherhood of St. Andrew Japan, Inc.

《幻がなければ民は墮落する》箴言29章18節

一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
日本聖公会東京教区会館内
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696
http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org

BSA 会報《季刊発行》

発行人 足立征三郎

編集者 萩谷長生

印刷所 徳信印刷



最後の晩餐の後、イエス様はゲッセマネの園で逮捕されますが、「逮捕された」と言うよりも「引き渡された」という方が聖書の心に忠実かと思えます。さらにその前、既にイエス様をユダヤ当局に「引き渡そう」と密かに狙っているイスカリオテのユダがおりました。ところが、驚くべきことに、この「引き渡す」ということは単にユダが仕出かしたただけでは無しに、神様ご自身のなさることとして語られています。そのことから、「引き渡す」「引き渡される」ということは、イエス様のご生涯の中で至って重要、且つ中心的な位置を占めていると言えます。

復活を祝い 感謝

東京教区主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

最後の晩餐の後、イエス様はゲッセマネの園で逮捕されますが、「逮捕された」と言うよりも「引き渡された」という方が聖書の心に忠実かと思えます。さらにその前、既にイエス様をユダヤ当局に「引き渡そう」と密かに狙っているイスカリオテのユダがおりました。ところが、驚くべきことに、この「引き渡す」ということは単にユダが仕出かしたただけでは無しに、神様ご自身のなさることとして語られています。そのことから、「引き渡す」「引き渡される」ということは、イエス様のご生涯の中で至って重要、且つ中心的な位置を占めていると言えます。

振り返りますと、イエス様はヨルダン川で洗礼をお受けになつて以来、その行動は活動的、率先的でしたが、ゲッセマネの園での逮捕、即ち「引き渡された」一辺りから様子が違い始めてきます。一見、弱々しく、されるが儘で雄々しくも見えず、さらにはユダヤ当局に引き渡され、祭司長たちの元へと引き渡され、ローマ総督ピラトやユダヤ王ヘロデの所へ引き渡され、遂には十字架を担がされ、市中をゴルゴダの丘へと引き回され、群衆から散々罵られ、十字

架の上で手足を釘付けにされといた具合に全てがされるが儘でいらつしやいます。けれども、当のイエス様はこのことをしっかりと引き受けていらつしやいます。それは、一見無力でされるが儘のイエス様の姿の中に、神様ご自身になさることを引き受けられ、神様にご自身を引き渡されることによつて神様の心を成し遂げられたイエス様の姿が隠されています。その結果が十字架であり、それに引き続く復活でした。十字架上のイエス様の両脇には二人の罪人が磔にされています。一人はイエス様を罵り、侮辱し、自分たちを救えと命令

までし始めます。折角、イエス様の隣に居合わせながら、イエス様に向けたのは誹謗中傷と要求だけであり、イエス様を利用出来る限り利用することだけであり、最後の最後迄イエス様に真の意味で出会うことの出来なかつた人と言えましよう。この男にしてみれば、自分の尺度でイエス様を計り、納得がいけば「さすがイエス様」、いかなければ失望し、悪態をつき、切り捨てる。そのことを今イエス様は十字架の上でされています。そういうイエス様の姿は、ともすれば神様から見放された姿として私たちの目にも映らなくないかもれません。

様に向かつて悔い改めと信仰の言葉を発し、もう一人の罪人に向かつては「お前は、神をも恐れないのか」と諷め、「我々は自分の仕出かした事の報いを受けているのだから当然だが、この方は何も悪いことなどしてはおられない」と自らを省み、イエス様に向かつては「イエスよ、あなたがみ国においでの時には、どうぞ私を思い出して下さい」と信頼と信仰さへ口にして下さつて当然とも思っていない心を感じます。むしろ、思い出して下さるかどうかはイエス

第104総会が2月23日(土)東京教区会館で開かれ、2018年度の事業活動報告、第1号議案の会計収支決算(案)および当期不足金処分(案)をいずれも承認した。足立会長は開会の挨拶で「就任後1年を振り返り、盛岡・福岡両支部を訪問して、親交を深めた。時間はかかるが、理事会の活性化にも取り組んでいる。BSAの認知度の向上を目指して、各種媒体にも働きかけをしている。会員の増加は高齢化の中で、思う通りにはいかないが、会員各位の意見を聞きつつ努力を重ねていく」と述べ、今後の運営に理解と協力を求めた。

多彩な活動を展開
2018年度の事業活動は、BSA創立90周年記念誌「希望のBSAをめざして」の発行からスタートした。続いて

青年キャンプ、支部長会議、東京聖三一教会支部との懇談会、福島への研修旅行、機関紙VISIONの発行、6年ぶりのBSAセミナー、同胞会事典の改訂、BSA通信の発行、「管区事務所だより」や各教区の時報編集部への積極的なアプローチなど多彩な活動を展開した。

では、事業活動総収入は2,867,441円、事業活動総支出は4,252,228円で、当期の収支差額は1,384,787円の赤字となった。当期不足金処分は、前期繰越剰余金(収支差額金)1,265,315円とポール記念基金取崩し2,001,000円から当期収

BSA第104総会

2018年度決算を承認

また、6月には足立会長が盛岡支部を訪問し、支部との関係強化に努めたほか、キープ協会と青少年キャンプや清泉寮創立80周年記念コンサートを共催、関係団体との連携に務めた。

支不足金を差し引いた1,881,528円を次年度に繰り越すこととの承認を求めたものである。会計収支決算について、早川潔、永井惇両監事から、「収入および支出は適正、かつ正確である。また、公益目的計画実施報告書も適正に執行されている」という監査報告があった。

活発な議論、議場に緊張感
総会に先立って開かれた評議員会で、「11月の総会で、100周年プロジェクトの具体的な内容の報告を2月の総会で行うよう求めたのに、報告がないのはなぜか」という発言があった。他の出席者からも「そういう思いを持っている人は多い」とか、「真摯に受け止めてもらいたい」という発言が続いた。

(理事 吉松英美)

追悼

恩師 竹内謙太郎司祭に感謝

主教 ガブリエル 五十嵐正司

竹内司祭との初めての出会いは慶応大学BSAの集いに於いてでした。1963年、米国の公民権運動がキング牧師を中心に...



B.K. Takeuchi (故人の自署)

竹内司祭の机には、ワシントン教区主教の写真が大切に置かれていたのを思い出します。学生へのミニストリーも、一生を掛けて行われた大韓聖公会の人々とのミニストリーも、その土台はワシントン教区・東京教区...

与えられ、尊敬していたからでしょうか。

両教区は姉妹関係結にあたり、両教区は沖繩教区と大韓聖公会への働きを協働することを決議し、ワシントン教区主教の尽力により、アメリカ聖公会から多額の寄付が東京教区に与えられ、その働きを東京教区MRI委員会が担いました。...

支部訪問 第2弾

足立会長 福岡支部へ

特に、大韓聖公会、釜山教区の人々への働きは長期的に、具体的には、丁寧に行われ韓国人の人々との強い信頼関係が生まれるものだったでしょう。葬送・告別式に来られた大韓聖公会の人々の涙ながらの出席は印象的でした。...

足立征三郎会長は1月19日(土)20(日)に萩谷長生編集担当理事とともにBSA福岡支部を訪ねた。BSAは支部と本部間の関係強化に努めてきたが、今回、昨年6月の盛岡支部に次いで地方の支部との懇談会が実現したことになる。...



倉、大分にあったBSAの活動拠点(九州支部)が1971年に福岡支部として統合されたこと。...

足立会長からは、BSAは「何をすところか？」を問うのではなく、「祈禱」と「奉仕」を通して教会の働きを支えることこそ活動の礎であり、そのためにも次の世代を育てる人材の会員化を目指したい旨発言。...

忘れ得ぬ人々

宿谷栄司祭の思い出

ミカエル 松岡正治

戦後すぐ清里の清泉寮を農村伝道の拠点として活動させるため、宿谷司祭、植松従爾伝道師(当時)が派遣された。赴任に際し、ポール・ラッシュンから何か欲しいものはないかを問われ、...



若き日の宿谷司祭

宿谷司祭は立教大学を昭和14年に卒業後、中華民国で日本人だけでなく、中国人にも積極的に伝道を行っておられた。中国語も堪能であり、北京で先生に出会った聖アンデレ教会(東京)の信徒も驚いたと言う。...

2019年度BSAセミナー
ワイリアムズ主教に学ぶーその生涯と同師をめぐる人々
講師 師・松平信久氏 (前・立教学院長)
今年日本聖公会初代主教のC.M.ワイリアムズ師の生誕190周年と1859年に日本に派遣されてから160周年にあたる。...

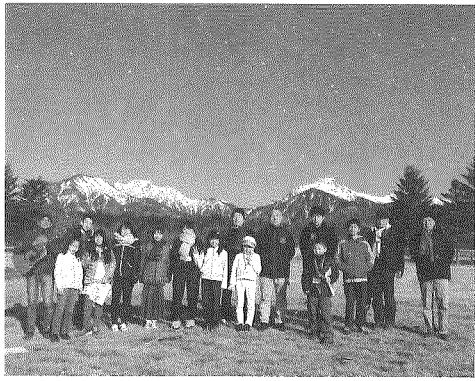
第5回「青少年キャンプ」

5年目を迎えた「青少年キャンプ」にとつて嬉しいことがありました。先ずはそのことをご報告します。2016年開催の第2回「青少年キャンプ」に参加した当時中学3年生の本幡明子さんがスタッフとして参加されました。このような形で「青少年キャンプ」経験者が加わったことに感謝します。

今年、リコーダーを持参しましたが、清里の自然に向かつて響かせ、礼拝の中でも用いました。これも新しい経験です。「自然学校」を会場とし、3月25日から、2泊3日の日程でキャンプ8名と有意義な時を過ごすことができました。

今回、若手スタッフに「東京教区中高生キャンプスタッフ」3名の協力を得ることができました。協賛した「キープ協会」スタッフの皆さまには例年同様全面的な支援を受けています。ありがとうございました。

ポールラッシュ記念センター見学、セッションわかち合い「大事なもの何か」、早朝礼拝・十字架の道行き体験、環境ボランティア美化(ゴミ拾い・牧柵ペンキ塗り)、ナイトハイイク、調理(ほうとうづくり)など、学



び、祈り、奉仕を通して実り多い3日間を過ごしました。

キャンプの参加者とスタッフから感想などが寄せられました。

以下、そのダイジェストをご紹介します。

・ペンキぬりがたのしかった。でも、朝はもう少しおそくおきたい。(いづかあんじゅ)

・ポール・ラッシュ記念館でなくしたものをた(秦)さんがとどけてくれてありがとう(やな田いつき)

・ナイトハイイクで星が見えてよかったです。来年もさんかしたいです。(いなばさき)

・ヤマネミュージアムに行きました。どうも橋をつくって動物が通れるようにしたのがすごいなあと思います。(大島舞子)

・友だちが2人もふえました。新しい友だちがふえるのは、こんなにたのしいことなんだと思いました。(大島愛子)

・ふだんできない体験や経験ができて一生の思い出になりました。食事もとてもおいしかったです。(陶花織)

・途中で参加して初め会った僕にキャンプパーやスタッフがすぐ話しかけてくれ、優しさが感じられました。(塚田証)

・三回目の参加です。みんな「ほうとう」を作って食べたことがとくに楽しかったです。(村松宏高)

・暗い森の中を歩き、寝転んで見たその風景、風に揺られる木々の音などを五感を通して感じた。スタッフの立場であったが、多くを学び、充実した時をもつことができました。(穂積香葉)

・小学生が多く、にぎやで、スタッフとして楽しかったです。祖父がBSA会員であり、今回BSAに関われることができて

よかったですと思いました。

(モトハタ マキコ)

・教区の「中高生キャンプ」の経験を生かして今回企画に加わり、キャンプに参加しました。リコーダー演奏や「ほうとう」作りは好評で、来年もやりたいと思います。(北久保光宣)

本部だより

中部教区への働きかけ

昨年11月に行われたBSA第103総会の席上、支部のない教区に支部を設ける手始めとして中部教区、特に名古屋周辺をターゲットとするよう提言があった。これを受けて理事会で協議し、野田徹理事を中心に中部教区に働きかける方針が決まった。

早速、中部教区センターに接触し、諸岡研史総主事にBSA活動について説明した。今後、諸岡主事または他の聖職・信徒を窓口として具体的な進め方を話し合うこととなる。

BSA100周年に向けて活動拠点の開拓は重要な課題である。今回の試みが幸いにして結果として名古屋支部(仮称)が新設されれば、これを契機に京都教区以西また、北関東教区以北にも拠点を設ける機運が高まることと期待される。

支部だより

支部活動活性化に向けて

房総支部長

アウグチヌス 岩間光雄

BSA房総支部は千葉県全域を一部として組織されており、支部会員30名が8つの教会

等に分散している。日本BSAの15%の会員数を擁す最大規模の支部であるが、その大きさゆえに小回りがきかず、房総支部全体としての活動がしにくい難点があった。今まで、問題解決のための検討は試みられたが、具体化には至っていない。

BSA100周年に向けて支部活動を活性化することは喫緊の課題の一つである。そこで、支部では本部と連携しつつ房総支部のダウンサイジング化について会員有志で構想を練り始めた。先ず手始めに現在の支部を二つのグループに分け、それぞれ集会、その他の行事を行いやすくすることを目指している。

今後会員へのヒアリング等を通して素案をまとめ、6月30日には支部総会を開催して分割案の承認を得たいと考えている。この会合の中では今後の具体的な活動についても話し合うほか、本部・支部間の懇談の場もぜひ設けたい。理事諸兄の参加を希望する。支部総会および懇談会の詳細は別途ご案内の予定。

BSAアーカイブス情報

理事 ダビデ吉松英美

BSA「松戸集會便り」の寄贈
BSA顧問倉石昇兄から「松戸集會便り」の寄贈を受けた。

1963年、人口が急速に増えつつあった千葉県松戸市の教会の設立を願う人たちが「日本聖公会松戸集會」を作った。代表は八木立三氏。

目指すは①常磐線沿線信徒の交わりの場、②未信徒への働きかけ、③「松戸教会」の設立。

家庭集會や家族キャンプ、各種の催事が行われた結果、この集會に集う人は10年間で80世帯を超えた。
1972年11月にはガリ版刷

りの「松戸集會便り」を創刊、教会設立準備委員会が発足。第2号からはタイプ打ちに変わり、4カ所で行われる月例集會の案内や会員の動向、会計報告、横浜教区の聖職者からの寄稿などが載っている。

1973年10月の横浜教区宣教100年記念礼拝では、岩井克彦主教が「松戸の働きは日本聖公会、横浜、東京両教区も注目している。千葉県下で12番目の教会となるよう期待する」と激励、松戸集會のための代祷が行われたことが報告されている。

櫻井亨司祭も東京教区の聖マルチン教会を立ち上げた時の経験談を集會で紹介している。
1974年5月には、岩井克彦主教を迎えて信徒宅で堅信式が行われた。6畳間に40人も詰め込んだため、重みで敷居が抜ける騒ぎとなり、「集會所の確保を痛感」という記事が出ている。
今回寄贈されたのは、1974年6月発行の第17号まで。倉石顧問は当時、横浜教区の松戸集會担当委員であった。

1975年に松戸集會伝道所が開設され、1993年には松戸パウロ教会の聖堂聖別が行われた。運動が始まってから30年、「松戸集會便り」が発行されてから21年である。
「松戸集會便り」を読むと、一つの伝道所や教会が出来るまでの関係者の願いと努力がどんなものであったかがよく分かる。興味深い資料である。

中部教区におけるカナダミッションの歴史を学ぶ

BSA研修旅行のお知らせ
今年の研修旅行は、カナダからの宣教師によって伝道が行われた中部教区の諸教会・施設等を訪ねます。

日程：2019年9月10日(火)～11日(水)
訪問先：長野聖救主教会、新生病院・新生礼拝堂、および軽井沢シヨール記念礼拝堂
お申し込み等は次号で案内いたします(詳細、参加申込み等は次号で案内いたします)

★一般ご家庭の引越 事務所引越
★オフィスの引越 のエキスパート//
★フロアへの移動
★各種展示会セッティング etc..

GTEC 株式会社ギンテック

港区港南3-4-12
TEL. 0120-223-008
TEL. 3471-5313

ホームメイド・チーズケーキの店

CHEESE CAKE
JOHANN
HOME BAKED MADE

和田博子
目黒区上目黒1-18-1
TEL. 3793-3503

立教企画グループ
学校業務受託、人材派遣等承ります。

株式会社 立教企画
株式会社 立教オフィスマネジメント
株式会社 立教ファシリティマネジメント
株式会社 立教ライブラリーマネジメント

http://www.rikkyo-planning.co.jp

<p>祝ご復活 ダビデ 吉松 英美 聖オルバン教会</p>	<p>祝ご復活 バルナバ 武藤 六治</p>	<p>祝ご復活 ミカエル 蘆田 信裕 (画号 松巖) 柏聖アンデレ教会</p>	<div style="text-align: center;">  <p>2019年</p> <h1>祝御復活</h1>  </div>	<p>祝ご復活 アンデレ 湯田 正範 東京聖三一教会</p>	<p>祝ご復活 アンデレ 黒田 哲朗 立教学院諸聖徒礼拝堂</p>	<p>祝ご復活 学校法人 聖公会神学院</p>
<p>祝ご復活 クリストファー 島崎 敏彦 聖マルコ教会</p>	<p>祝ご復活 ミカエル 松岡 正治 聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 オーガスチン 村瀬 俊幸 長坂聖マリヤ教会</p>		<p>主のご復活を心から お祝い申し上げます マツテヤ 尾崎 茂雄 横浜聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 テモテ 萩谷 長生 柏聖アンデレ教会</p>	<p>イースター おめでとうございます パウロ 金子 眞 林間聖バルナバ教会</p>
<p>祝ご復活 ダビデ 木島 出 阿佐ヶ谷聖ペテロ教会</p>	<p>主はまことに、まことに よみがえられたハレルヤ クレメント 国見 登 立教学院諸聖徒礼拝堂</p>	<p>祝ご復活 聖路加国際病院 BSA聖ルカ礼拝堂支部 支部長 早川 潔</p>		<p>主のご復活を お喜び申し上げます。 ヨハネ 後藤 信哉 長坂聖マリヤ教会</p>	<p>祝ご復活 トーマス 斎藤 政雄 聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 サムエル 岡野 峻 聖パウロ教会</p>
<p>祝ご復活 銀座朝拝会 チャレン 司祭 佐々木 庸 世話人 松田 正人</p>	<p>祝ご復活 マルチン 足立征三郎 聖マーガレット教会</p>	<p>祝ご復活 感謝 日々是新 ダビデ 倉石 昇 房総支部千葉復活教会</p>		<p>Христось воскрес ! Воистину воскрес ! ハリストス復活! 実に復活! ロシアレストラン チャイカ 高田馬場駅前 F1ビル 2F ウイリアム 麻田恭一(練馬聖ガブリエル教会)</p>	<p>ハレルヤ祝ご復活 BSA顧問 アイレニアス 砂田 郁郎 東京聖三一教会</p>	<p>祝ご復活 横濱聖アンデレ教会 ベタニヤ・ホーム在住 瀬川 義夫</p>
<p>祝ご復活 ヤコブ 後藤 務 東京聖三一教会</p>	<p>我、主と共に在り 主、我と共に在せり ヨハネ 寺内 安彦 東京聖三一教会</p>	<p>日頃のご支援に感謝 福岡支部 フランシス 外池 圭二 九州教区福岡聖パウロ教会</p>	<p>祝ご復活 ヨセフ 松平 信久 東京・聖愛教会</p>	<p>祝ご復活 ヨセフ 永井 寛泰 インマヌエル新生教会</p>	<p>祝御復活 アルト・サセル 渡辺多茂夫 藤沢聖マルコ教会</p>	<p>祝御復活 ステパノ 高橋 保 横濱聖アンデレ教会</p>
<p>祝ご復活 ヨハネ 桑田 秋光 キープ協会</p>	<p>祝ご復活 み子の力ある復活 セオドル 佐久間達也 インマヌエル新生教会</p>	<p>祝ご復活 サムエル 天野 公成 インマヌエル新生教会</p>	<p>祝ご復活 ベテロ 永井 直行 千葉復活教会</p>	<p>祝ご復活 ルカ 永井 信行 東京・三光教会</p>	<p>祝ご復活 クリストファー 湯田 啓一 柏聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 アウグスチヌス 岩間 光雄 房総支部長 松戸聖パウロ教会</p>
<p>祝ご復活 アンデレ 永井 惇 茂原昇天教会 (房総支部)</p>	<p>祝ご復活 テモテ 早野 勝徳 横浜聖アンデレ教会 (横浜支部)</p>	<p>祝ご復活 おめでとうございます テレジア 星野 直子 星野道夫事務所 市川聖マリヤ教会</p>	<p>祝ご復活 イースター おめでとうございます マゼット 佐藤 百合子 三光教会</p>	<p>BSA再生を目指そう 若い魂の持ち主を求めて ミカエル 諫山 禎一郎 八王子復活教会</p>	<p>祝ご復活 イースター おめでとうございます パウロ 小出 康之 真光教会</p>	<p>祝ご復活 アンデレ 武藤 直二 清里支部・田聖公会</p>

日本BSA支部一覧

房総支部

チャプレン 司祭 田澤利之
執事 眞栄田肇
支部長 岩間光雄 松戸
倉石昇 千葉
高橋正二
池田稔
永田保信
桑田秋光
永井義行
永井直行
倉石栄
岡崎鮎太郎
豊島主伸
筒井康二
永井隆雄
山崎俊男
桜井彦太郎
萩谷長生 柏
湯田啓一
芦田信裕
荒木信義
磯岡哲也 福田
飯田栄
内田利一 松戸
大橋寛
丹治隆雄
永井 惇 茂原
相場宗太郎 鴨川
坂本輝彦 立教
村瀬俊幸 長坂

神田支部

チャプレン 司祭 井口 諭
支部長 金澤一央
神辺顕彦
鈴木 出
長谷川卓

盛岡支部

チャプレン 司祭 林 国秀
顧問 金子昭三
支部長 赤坂 徹
副支部長 斉藤高夫
会計 相澤 洋
書記 圓子敬一
照井寿弘
赤坂 健
林 誠

横浜支部

チャプレン 司祭 小林祐二
顧問 瀬川義夫
尾崎茂雄
支部長 早野勝徳
副支部長 高橋 保
書記 西谷信一郎
岡田健治
小山俊雄
土井督郎
斉藤垣徳
高橋紀道
富安重雄
瀬川 隆 茂原
高橋謙哉 浦安
染谷孝章 山手
工藤 亮 山手
中村 茂 山手
平井 拓 川崎
田島利男 川崎

福岡支部

チャプレン 司祭 濱尾正直
顧問・司祭 壹岐裕志
支部長 秋山献之
外池圭二
園木一男
吉鹿善郎
吉鹿善文
下村仁士

聖マルコ教会支部

チャプレン 司祭 佐々木庸
支部長 島崎敏彦
戸川達男
高崎健一

インマヌエル新生教会支部

チャプレン 司祭 卓 志雄
支部長 天野公成
副支部長 佐久間達也
会計 永井寛泰
松平謙次
丸茂晴彦 立教

平塚聖マリヤ教会支部

チャプレン 司祭 島田征吾
顧問 竹内元章
支部長 金子和雄
幹事 小室喜雄
末兼 仁
書記 鈴木久夫
赤田祐章
富塚 仁
高田和明
堀井 明
水津顕男
上城太一
小菅利一
林 豊
小林博紀
片山正久
島田慰彦
石塩慎吾

清里支部

チャプレン 司祭 大野清夫
支部長 野田 徹
奥水国雄
立岩 督
利根川寅雄
中村光男
小林長弘
吉田愛一郎
武藤直二
川田治教
会計 中村光男
書記 吉田愛一郎

聖路加国際大学
聖ルカ礼拝堂支部

チャプレン 司祭 K・シーバー
チャプレン 司祭 上田憲明
支部長 早川 潔
齊藤寿明

藤沢支部、湘北支部は休会中

林間支部

チャプレン 司祭 片山 謙
金子 眞
塩月 齋
支部長 小平 基
金子義雄
並木伸裕
江原重則
永井昭彦
倉田 賢
伊木俊昭
書記 伊木俊昭

南町田支部

チャプレン 司祭 K・シーバー
支部長 松田正人
副支部長 吉田昌夫
書記・会計 小出康之
細田衛士
三村英夫
増岡克夫
古谷俊次
大山省三
矢久保讓
森田直也
野田義文
中野欣一

東京聖三一教会支部

チャプレン 司祭 笹森田鶴
支部長 川村啓三
津村周伝
秋山俊哉
石川大次郎
岩浅紀久
河合伸治
川田泰熙
後藤 務
砂田都郎
寺内安彦
名倉 敏
西澤功幸
藤松 曜
松田義夫
湯田正範
網蔵卓爾
矢野峻行

新支部誕生

インマヌエル新生教会支部

東京教区の練馬聖ガブリエル教会、東京聖マルチン教会、池袋聖公会の三つの教会が統合して、4月からインマヌエル新生教会となった。

これに伴いBSA池袋聖公会支部もインマヌエル新生教会支部となり、これを機にあらたに旧練馬聖ガブリエル教会の松平謙次兄が参加した。支部長は天野公成兄、チャプレンは卓志雄司祭。会員数は5人。

会員動向

ルカ宮田裕三兄
3月にウイリアムス神学館を卒業、4月から神戸教区徳島伝道区(住所は徳島聖テモテ教会)で、聖職候補生として勤務することになった。

訃報

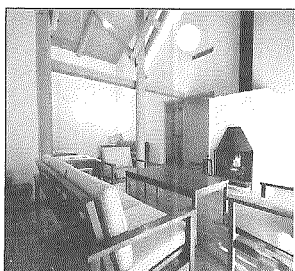
フランシス 川崎文雄兄 (88歳)
(林間聖バルナバ教会) 1月2日逝去

司祭 バルトロマイ 竹内謙太郎師 (87歳)
1月23日逝去

ペテロ 柴山善弘兄 (88歳)
(新生会礼拝堂) 2月6日逝去

歓迎新入会員

パウロ 下村仁士兄
(福岡聖パウロ教会)



清里高原・清泉寮

記念日プランや早割プランなど、様々な宿泊プランをご用意しております。
グループでの修養会・合宿もご相談ください。

清泉寮フロント：0551-48-2111
www.seisenryo.jp



聖路加フレンズは、
健やかなところとからだをつくるための
会員制健康クラブです

☎ 03-3541-1056

受付時間 平日9:00~16:00
(土・日・祝日を除く)

株式会社聖路加コーポレーション
聖路加フレンズ事務局
https://www.stlukes-friends.com/

清里高原だより 清泉寮ニユース

ゴールデンウィーク
体験プログラムのお知らせ

全国的な暖冬の影響は清里高原でも例外でなく、ここまで雪の無い冬は記憶にないほどでした。春が進むのもいつもより早いようです。

清泉寮では、今年のゴールデンウィークも新緑の森や自然に親しめる様々な体験プログラムをご用意しています。より多くのお客様に清泉寮の魅力を楽しんでいただけるよう、例年より多くのプログラムを開催予定です。清里高原の自然の魅力を再発見しませんか？

●ヘイライドトトラクターの荷台に乗って牧草地をのんびり一周！

牧草を積んだトラクターの荷台に乗り、絶景の牧草地をのんびりとドライブする「ヘイライド」。小さなお子様からご年配の方までどなたでも気軽に牧場気分が楽しめるので毎年大人気の



プログラムです。

期間：4月27日(土)～5月6日(月)

時間：10時～15時(天候により中止の場合あり)

料金：1回500円

お問合せ：清泉寮ファームショップ0551(48)4888

※ご予約は不要です

●いきものガイドウォーク

毎週末開催のガイドウォークが、ゴールデンウィーク期間中は回数、時間もパワーアップして特別開催します。虫や野鳥など、毎日異なるテーマで自然案内(レンジャー)が清里の自然を楽ししくお伝えします。

期間：4月28日(日)～29日(月)

5月3日(金)～6日(月)
時間：10時～12時(天候により中止の場合あり)

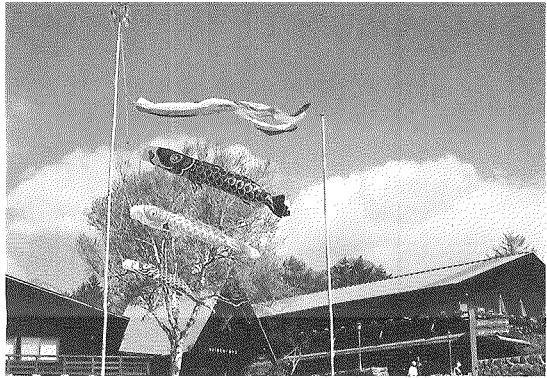
料金：無料

お問合せ：八ヶ岳自然ふれあいセンター0551(48)2900

※要予約 ※通常のガイドウォークも4月27日(土)～5月6日(月)まで毎日14時～15時に開催します。

●清泉寮「森の時間」

清泉寮ではご宿泊の方向けに、清里高原の豊かな自然を活かした森のお散歩ガイド・星空観察・この時期しかできない鹿のツノ探し・小さなたき火おこし体験など、バリエーション豊かなプログラムを日替わりでご



清泉寮本館前では、端午の節句に合わせて鯉のぼりを掲げています。八ヶ岳を背景に青空を悠々と泳ぐ姿は、記念撮影にぴったりです。



用意しています。実施日時や所要時間、料金は内容によって異なりますので、詳しくは清泉寮ホームページ(www.seisunyo.co)をご覧ください。ご参加にはご予約が必要です。ご予約・お問合せ：清泉寮フロント0551(48)2111

「VISION」文芸

野田 徹

山肌の白さ眩しき冬の朝
朝日うけ光る雪原犬駆ける
巨大月オリオンかすむ夜空かな

松岡正治

新緑や神学校の一年生
富士山に朝日映ゆるや初蛙
植木屋の鉄の音や新松子
風通う小径のありて募洗う
栗拾う頃に会おうと別れけり
曝書して父の日記の一行

萩谷長生

勧められ試みに歌詠みし
手ほどき受けて初投稿す
機関紙の初校のゲラや早や届く
大斎始日の嘆願虚ろなり

吉松英美

昭和という戦前・戦後も歴史化し
平成を経て令和の代に入る

さりげないエピソードにこそエッセンス
竹内謙太郎司祭の話術の巧みさ

冬の日にシヨパン「ノクターン」を聴く昼下がり
曲短けれど感動深し

学際を超えて知の生育てたり
挑戦の人梅原猛氏逝く

日本人以上に日本人とは異であるが
そういうほかなしドナルド・キーン氏逝く

寄贈図書案内

P・ラッシュユ著、飯田徳昭訳
「日本聖公会
ポール・ラッシュユ報告書」
立教大学出版会
2008年発行

右記の図書数冊の寄贈を受けました。BSAでは1部2千円の特別価格で頒布いたします(定価は3千5百円)。

購入ご希望の方は早めに本部にお申し込みください。

「信徒叢書のある風景」募集!

みなさんの教会で信徒叢書はどこに置いてあるのでしょうか。礼拝堂、集会室、入り口、

ロビーなど信徒叢書の置いてある姿をデータで送ってください。異なる角度からの写真を2枚送ってください。

写真には叢書の置いてある場所、撮影者名、教会名をお忘れなく。締め切りはありません。送り先はBSA本部VISION編集部。
メール：bsa@nisk.org

BSA通信第3号発行

BSA通信第3号を2月25日(月)に発行した。内容は第104総会の報告である。

「管区事務所便り」を始め、各教区の「教区(時)報」編集部宛に発送、掲載を依頼した。

編集後記

・ご復活おめでとうござい
ます。時節柄、東京教区主
教高橋宏幸師父のイース
ター・メッセージを1面
トップに掲載しました。

・VISION文芸には新
人の俳句と短歌をそれぞれ
加えましたが、これが皆様
の投稿の呼び水となればと
密かに目論んでいます。

・名刺広告欄のカットは、
柏の蘆田信裕兄の作品で
す。164号の足立会長
の似顔絵に引き続きありがと
うございました。(N・H)